

民営化された安岡園の新園舎

「安岡園」新園舎完成

市が民間に譲渡し、
4月から社会福祉法人
「大樹会」が運営して
いる養護老人ホーム
「安岡園」新園舎が
24日、新園舎完成にと
もない開所式をした。

「安岡園」(昭和60年
築)は、建物の老朽化
や入所者に対する介護
サービスの向上の必要性
などの問題に対応する
約7億円。

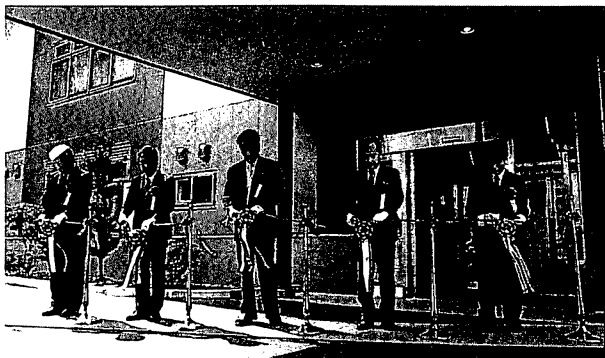
「大樹会」が運営

ため、平成27年に民営
化を決定。同28年に移
譲先の法人を大樹会に
選定した。大樹会は、
同園の南側で「やすら
ぎ苑」を運営する。

大樹会は集会所、食
堂など一部を除き既存
の建物を解体、新園舎
を建設した。

新園舎は延床面積約
1500㎡。鉄骨造り
2階建て。4つのユ
ニット(生活空間)に
分かれており、1ユ
ニットに12室。居室は
完全個室でトイレ付
き。原子力災害に対応
したシェルター機能を
備えている。総事業費

テープカットの様子



茂副市長ら
が出席。大
橋正一理事
長が「気持
ちを新たに
スタツプ一
同、一層の
努力を重ね
て業務に励
んでまいり
ますのでよ
ろしくお願
いいたしま
す」とあい
さつした。

その後、

定員は48人で、既存
関係者によるテー
プの利用者32人が入所
する。
カットが行われ、新園
舎の完成を祝った。

開所式には野村賢治
中丹広域振興局長や堤
林高幸園長は「利用
者が健康や災害に対し

て安心して暮らせる施
設を目指したい」と話
した。